

令和二年度博士学位記受領者総代謝辞

冷たく暗いトンネルのような冬を抜け、例年よりも早い時期ではありませんが、本年もまた国立の大学通りの桜が私たちを華やいだ気持ちにしてくれる春の訪れを迎えています。中野学長はじめ諸先生方と関係の皆さまのご臨席のもと、この学位記授与式を催して頂きましたことを、博士課程修了生を代表し、感謝申し上げます。

私たちがこの日を迎えることができましたのも、多くの方々のご支援の賜物に他なりません。とりわけ、指導教官をはじめとする先生方には、博士論文の執筆にあたり、厳しくも暖かいご指導を頂きました。一人前の研究者の資格証明ともいふべき博士論文にまで自らの研究の水準を高めるといふ、それぞれの一世一代の企てに真摯に向き合って頂いたことに感謝の言葉もありません。私たちの大学院での生活が充実したものとなるよう支えて頂いた大学職員の皆さまにも深く感謝いたします。とりわけこの一年は新型コロナウイルスの感染拡大という前例のない困難のもと、先生方、大学職員の皆さまにおかれましては、様々な形で力を尽くしてくださいました。リモートでは数々の力のこもった講義が行われていました。博士論文の執筆に際しては、関係の先生方にリモートで参集頂き、ご指導頂く機会を頂戴しました。本日の学位記授与式に際しても、会場での参加者を絞りつつも、私たちの個人的な関係者がリモートで参観できるよう手配して頂いていると承知しています。

一橋大学の博士課程での研鑽を通じ、私たちは学問という方法の力強さを知ることになりました。十七世紀の哲学者スピノザの言葉を借りると、一定の作法を通じ基礎づけられた学問の見地に立つことを覚えることで、私たちは、この世界をいわば永遠の相のもとにみることができるようになる。控えめにいえば、永遠の相のもとにみる手がかりを得るのです。永遠の相から物事をみることで、時と場合を通貫する一般性の高い解釈、問題解決の方法、さらにその解釈と方法に付きものの歪みの所在を把握することができるようになるのです。気候変動問題から国や企業の経営、ヒューマン・ネイチャーの解明まで、世界には数多の問題があります。そして、それらの問題はより良い解釈と解決を求めています。一橋大学博士を授与頂いたこの日から、私たちは新たな責務を負うものと感じています。自分たちの学問を深める努力をつづけつつ、研究者として、この世界に遍在する問題に私たち人類がよりよく対処することができるよう、持てる知恵を惜しみなく注ぐ。このような責務です。

一橋大学には、この学問という方法の貪欲な開拓者でありつづけるとともに、その力強さを人々に伝えるべく一層の奮起をお願いしたいと思います。一九九〇年代初頭のバブル経済の崩壊以来、我が国が足踏みをしている間、世界は我々を次から次へと追い越していきましました。その間の我々に欠けていたのは、新たな知的価値の創造とその社会実装です。そして、そのような事態を招いた根本の原因は、知性へのリスクペクトの欠如だったのではないのでしょうか。豊かな社会

を築くには、市井の人々の日常の努力が必要ですが、同時に知的リーダーシップを担う人材の輩出が決定的に重要です。コロナ禍のなか、一橋大学ではリモートにより、素晴らしい講義が行われていました。国内外の専門家を集めた興味深い研究会が活発に行われています。このような有意義な機会が、意欲と素養を持つより多くの人々に開かれることを期待しています。そして、私たちも、一橋大学の知的資産に関わりを持ち続け、その資産をより豊かなものにするための貢献ができることを望んでおります。

最後になりましたが、先生方をはじめ、お世話になった方々へ、重ねて感謝申し上げますとともに、本日お集まりの皆さま方のご健勝、並びに一橋大学のますますの発展を祈念し、謝辞とさせていただきます。

令和三年三月十九日

一橋大学大学院

令和二年度博士学位記受領者総代

経済学研究科 廣光俊昭